

第1編 普通会計

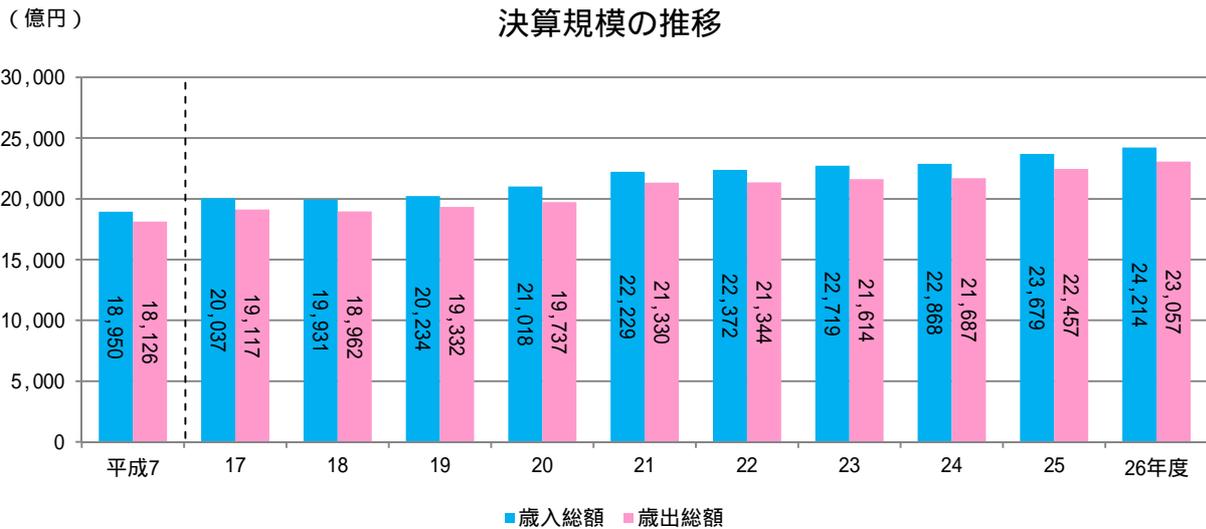
1 決算規模・決算収支

【決算規模】

歳入 2兆4,214.3億円（対前年度 +534.9億円、+2.3%）

歳出 2兆3,057.3億円（対前年度 +600.2億円、+2.7%）

歳入、歳出ともに増加し、決算規模は過去最大となりました。

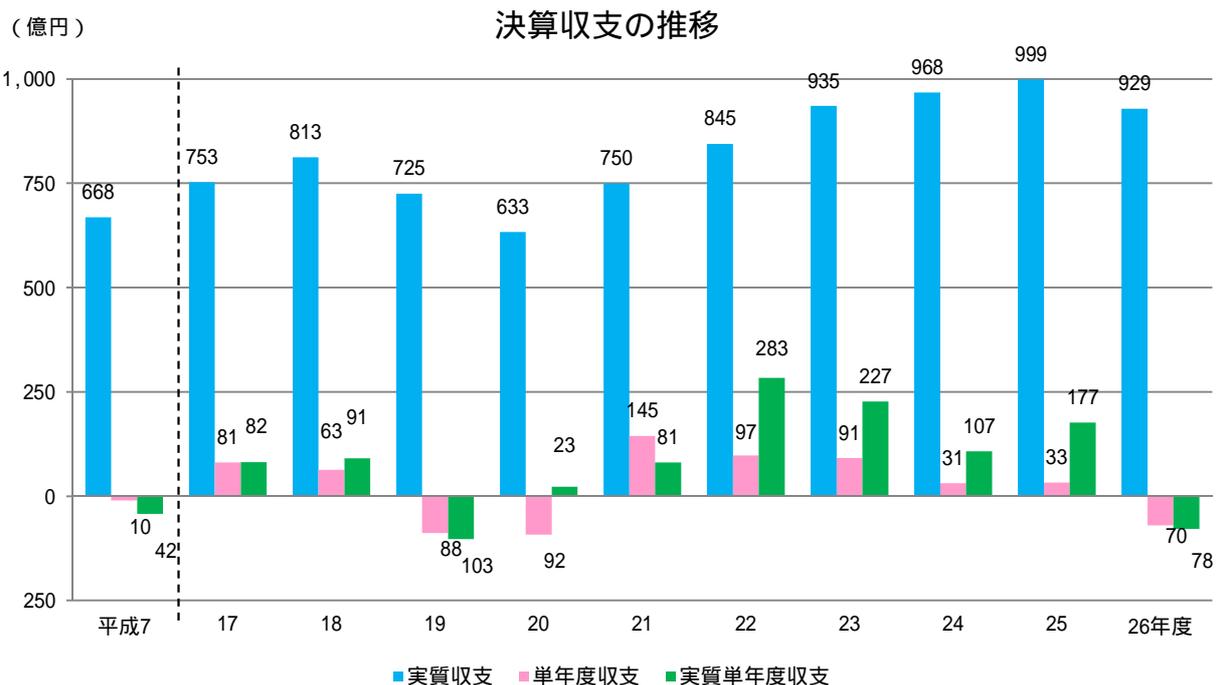


【決算収支】

実質収支 928.9億円となり、昭和52年度以降38年連続して全市町村が黒字となりました。

単年度収支 70.1億円となり、6年ぶりに赤字となりました。

実質単年度収支 78.4億円となり、7年ぶりに赤字となりました。



平成26年度 市町村別普通会計決算収支の状況

(単位：億円)

市町村名	歳入総額	歳出総額	形式収支	実質収支	単年度収支	実質単年度収支
1 さいたま市	4,642.6	4,524.2	118.4	58.4	2.5	3.2
2 川越市	1,143.3	1,085.5	57.9	51.2	2.6	9.6
3 熊谷市	674.6	640.5	34.1	30.0	14.0	10.8
4 川口市	1,940.6	1,792.4	148.2	130.2	20.9	10.4
5 行田市	285.6	273.5	12.1	10.3	4.1	2.1
6 秩父市	301.4	279.4	22.1	20.3	5.2	5.3
7 所沢市	1,014.0	972.9	41.0	35.6	1.6	8.4
8 飯能市	290.8	274.9	15.9	13.9	2.4	0.2
9 加須市	406.2	373.9	32.3	26.4	3.2	3.4
10 本庄市	348.6	316.5	32.1	22.1	1.7	0.7
11 東松山市	311.3	291.9	19.4	12.1	0.2	1.4
12 春日部市	699.5	673.6	25.9	22.2	2.9	1.7
13 狭山市	480.0	457.0	23.0	19.2	3.2	2.3
14 羽生市	192.5	180.8	11.7	10.8	1.3	1.3
15 鴻巣市	415.8	396.4	19.4	17.0	2.6	4.4
16 深谷市	589.8	540.0	49.8	30.6	3.5	12.2
17 上尾市	595.7	571.4	24.3	20.9	0.1	3.2
18 草加市	704.5	657.5	47.0	44.4	0.6	3.9
19 越谷市	951.6	916.7	34.9	34.4	8.6	14.3
20 蕨市	231.9	220.7	11.2	10.9	1.8	1.7
21 戸田市	544.4	521.9	22.5	17.8	2.2	3.0
22 入間市	396.0	383.5	12.5	11.0	2.6	0.5
23 朝霞市	375.3	365.8	9.5	9.0	4.1	0.3
24 志木市	230.2	215.5	14.8	14.6	2.3	5.9
25 和光市	247.5	233.3	14.2	12.7	1.9	5.1
26 新座市	540.4	525.3	15.1	12.8	3.2	8.6
27 桶川市	228.4	221.1	7.3	6.3	0.6	4.3
28 久喜市	497.8	475.4	22.4	15.6	1.3	8.4
29 北本市	220.6	211.1	9.5	9.0	0.8	3.3
30 八潮市	317.1	300.9	16.2	15.1	0.2	0.7
31 富士見市	343.0	328.7	14.3	8.1	1.4	3.6
32 三郷市	469.8	435.4	34.5	32.1	5.8	7.3
33 蓮田市	188.8	179.1	9.6	6.7	0.4	0.4
34 坂戸市	285.9	270.8	15.1	12.9	1.2	3.1
35 幸手市	177.1	169.2	7.9	7.5	4.2	3.9
36 鶴ヶ島市	213.5	204.5	9.0	8.1	1.7	4.9
37 日高市	200.6	189.4	11.2	8.4	0.3	0.9
38 吉川市	198.4	191.8	6.6	6.3	0.1	2.7

(単位：億円)

市 町 村 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額	形 式 収 支	実 質 収 支	単 年 度 収 支	実 質 単 年 度 収 支
39 ふじみ野市	407.7	383.9	23.8	12.3	0.1	0.1
40 白岡市	134.4	128.9	5.5	4.2	1.2	1.0
市 計	22,437.2	21,375.1	1,062.2	850.9	67.0	55.8
41 伊奈町	117.6	112.3	5.3	5.2	0.9	3.5
42 三芳町	153.9	147.8	6.1	5.9	0.3	1.2
43 毛呂山町	104.2	100.2	4.1	3.1	0.4	0.3
44 越生町	42.1	39.5	2.6	1.7	0.3	0.9
45 滑川町	63.7	59.6	4.1	3.7	0.2	2.2
46 嵐山町	66.9	64.0	2.9	2.8	0.4	0.0
47 小川町	110.8	106.0	4.8	3.9	0.0	5.1
48 川島町	76.1	72.7	3.5	2.9	0.3	0.2
49 吉見町	68.5	63.7	4.8	4.6	0.6	2.3
50 鳩山町	54.8	53.0	1.8	1.2	0.2	1.0
51 ときがわ町	54.0	52.4	1.6	1.6	1.1	0.4
52 横瀬町	40.0	37.2	2.9	2.2	0.3	0.2
53 皆野町	42.0	39.9	2.1	1.1	0.1	0.2
54 長瀬町	34.7	33.7	0.9	0.6	1.2	1.2
55 小鹿野町	76.2	70.9	5.4	5.0	0.3	0.6
56 東秩父村	20.9	19.8	1.1	0.9	0.6	0.4
57 美里町	52.0	47.1	4.9	3.4	0.3	2.6
58 神川町	69.9	63.8	6.2	4.8	0.6	1.3
59 上里町	99.2	93.4	5.8	5.7	0.0	0.2
60 寄居町	116.9	110.2	6.7	6.0	0.8	1.4
61 宮代町	95.9	92.1	3.7	2.6	1.6	1.4
62 杉戸町	130.9	121.7	9.1	5.3	1.0	6.7
63 松伏町	86.0	81.4	4.6	3.7	1.1	0.9
町 村 計	1,777.1	1,682.2	94.9	78.0	3.0	22.6
県 計	24,214.3	23,057.3	1,157.0	928.9	70.1	78.4

- 用語解説 -

普通会計

市町村などの地方公共団体の会計は、一般会計と特別会計に区分整理されていますが、各団体の特別会計の区分は画一ではありません。そのため、団体間や時系列での比較ができるように、一般会計とその他一般行政部門の特別会計を合わせて、普通会計として統計上整理しています。

形式収支

歳入から歳出を差し引いた額をいいます。

実質収支

その年度の決算で、収支が赤字か黒字かを見るための指標で、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源（事業の繰越によって翌年度に確保すべき財源など）を差し引いた額をいいます。

単年度収支

実質収支はその年度以前の累積された収支が含まれているため、その部分を除いたその年度だけの収支の結果をいいます。

実質単年度収支

単年度収支から実質的な黒字要素や赤字要素を除いたもので、これらの要素がなかったと仮定した場合、単年度収支がどうなったのかを見るものです。実際の算定は、単年度収支に、財政調整基金に積み立てた額と地方債を繰上償還した額を黒字要素として加え、財政調整基金を取り崩した額を赤字要素として差し引いた額となります。